

特定非営利活動法人ぷらちなくらぶ

## 平成 26 年度 (2014 年, 第 14 回) 通常総会議案書

日 時 : 平成 27 年 (2015 年) 5 月 26 日 (火) 10 : 00 ~

場 所 : 特定非営利活動法人ぷらちなくらぶ 2F

1. 開会挨拶

2. 定足数の報告・議長選出

3. 議事録署名人選出

4. 議題

- 第 1 号議案 平成 26 年度事業報告承認の件
- 第 2 号議案 平成 26 年度決算報告承認の件
- 第 3 号議案 平成 27 年度事業計画 (案) 承認の件
- 第 4 号議案 平成 27 年度予算 (案) 承認の件
- 第 5 号議案 役員 (理事・監事) 選出承認の件
- 第 6 号議案 その他報告事項

5. 閉会挨拶

## 平成26年(2014年)度事業報告書

自平成26年4月 1日  
至平成27年3月 31日

## I.事業

## 1.事業概要

平成26年度は「スマイル事業」、「子育て応援隊事業」を筆頭に事業収入が拡大し、「児童デイ事業」「ケアマネ事業」も安定した伸びを見せ、その他の事業も前年度同等の事業規模を確保できた一年となった。

「スマイル事業」～運営の体制や情報共有を常に改善し、職員同士の関わりを密にして事業に取り組んだ結果、利用者増となり前年比大幅増となった。

「子育て応援隊事業」～利用者の急増にも安定して対応した結果、過去最大の事業規模となった。

「児童デイ事業」～今年度から1Fと2Fに運営フロアを拡大し、利益率の低い地域ニーズに職員一人丸となって取組み、多数の児童支援を行ないつつ収益確保ができた。

「居宅介護支援事業」「訪問介護事業」「総合支援事業」～従事者人員体制を強化し、相互に連携しながら法人全体の事業基盤の核として、安定した事業を継続できた。

「サロン事業」「独自(子育て)事業」～これまで蓄積したノウハウを軸に運営体制の人員基盤、運用フローに磨きを加え、法人の信頼感を高めた。

- ・今年度は職員の常勤転換、特別手当等の充足等、「職員重視」の一環として待遇改善を進めるとともに、新卒採用、社会人教育や定例会のテコ入れなどを進め、資質教育にも重点を置いた。
- ・事業部横断のイベント実施や地域連携での協力を進め、活発な事業展開、運営を実施する事ができた。
- ・法人経営としても、月次で事業ごとの収支に管理費を配賦して、より正確な収支の把握を進め、キャッシュを適正に把握しながら、借入金の返済を安定して行いしつつ、収益を確保し適正に還元することができた。
- ・従前以上に各顧問と相談しつつ、第三者視点も加えながら、より適正に法人を運営する事できるよう、基本的な組織力の底上げができた年となった。

## 2.事業活動概要

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事人数	受益対象者の 範囲及び人員	売上実績 (千円)
介護関連	居宅介護支援事業所 「ぷらちなぷらん」 ・ケアプラン作成事業	9:00-18:00	利用者宅	2人	のべ 1,447人	8,352
	訪問介護 ・介護保険訪問介護事業	24時間毎日	利用者宅	30人	34人	20,620
	小規模多機能型居宅介護 「スマイルぷらちな」	24時間毎日	スマイル施設及び利用者宅	24人	のべ 登録216人	63,778
障がい 関連	総合支援 ・総合支援、居宅介護事業 ・ガイドヘルプ、生活支援(身体介護・家事援助・外出介護)	24時間毎日	利用者宅及び介助先	40人	60人	47,513
	ぷらちな児童デイ ・放課後等デイサービス事業	平日9:00-19:00 (送迎時間含)	ぷらちな事務所1F,2F	11人	のべ 3,282人	27,120
子育て 関連	あだち子育て応援隊 (子育てホームサポート事業) ・一時保育	6:00-22:00	利用者宅	のべ 1,175人	のべ 13,616人	69,924
	・月ぎめ保育	8:00-18:00	利用者宅及び支援者宅	のべ 362人	のべ 116人	

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事人数	受益対象者の 範囲及び人員	売上実績 (千円)
子育て 関連	新田キッズルーム ・幼稚園送迎ステーション事業 ・地域人材連携サロン事業	送迎ST 平日7:30-9:30 16:00-19:00 サロン 平日10:00-16:00	新田キッズ ルーム (新田3)	4人	のべ 送迎ST 240人 サロン4,102人	13,468
	ちびっこガーデン(子育てサロン 西新井) ・子育てサロン事業	10:00-16:00 (閉館日除)	ちびっこ ガーデン(栗 原1)	12人	のべ 一時預575人 サロン85,399 人	
	地域保健センター集団保育事業 ・一時保育独自サービス	9:00-18:00	区内各保健 センター	269人	516人	1,167
		利用者宅	100人	110人		

### 3.事業の成果

#### (1)居宅介護支援事業所「ぷらちなぷらん」

- ・要介護者等(要介護者,要支援者)がその心身の状況等に応じた適切な居宅サービス・地域密着型サービス・施設サービス・介護予防サービスまたは地域密着型介護予防サービスを利用できるよう相談に応じ、本人、自治体、事業者、施設などと連絡調整を行い、自ら自立して日常生活を営む事が出来る様、専門的知識や技術をもとに適切なプランを立てることで、大きな信頼を受けることができた。
- ・都、区、地域包括等の研修にて得た知識を活用してより良いケアプランを作成する事ができた。
- ・介護認定に関わる新規申請、認定更新を積極的に行い、利用者増加につなげることができた。
- ・他事業部の定例会、勉強会にも参加し、様々な視点で利用者と向き合うことができた。

#### (2)訪問介護事業/障がい者総合支援事業

- ・利用者に対するサービス提供に際して、本人はもとより家族、ケアマネ、ヘルパーと連携しながら進め、自立支援という視点を忘れずにサービスを提供する意識をもって取り組んだ。
- ・サービスのスキルアップを事業部全体でとらえ、研修はもとより同行援護、喀痰吸引などの資格取得も計画的にかつ積極的に広めることができた。
- ・定例会にも重きをおき、スマイルぷらちなと連携しながら開催した。様々なシーンで共通する内容を中心に、ときには外部の方にも講師として協力していただきながら、随時工夫をして進める事ができた。今後は参加率を上げる事が課題でもある。

#### (3)小規模多機能型居宅介護「スマイルぷらちな」

- ・「心のふれあい」「自律(立)支援」「社会作り」を念頭におき、児童デイ等とも連携を深め、ふれあいの場(ハロウィン、クリスマス会、日常的なおやつの時間の交流、合同誕生会など)を数多く提供できた。それに伴い、より強固な職員同士の仲間意識、協力関係を構築する事ができた。
- ・[事業力UP提案 強化週間プロジェクト]を実施し、職員からの意見をもとにバラ風呂や地域連携「七輪パーティ」などを企画したり、施設内設備の改修等を進めた。
- ・利用者数が増える事で心のふれあいの機会が減らないよう、平日の昼食には配食サービスを利用したり、記録帳票類の書式改善、小口現金授受の改善(給油カード、ネット購入)を工夫し、利用者に関わる時間の確保に努めた。
- ・新規相談については、どんな状況の方でも“その人らしさ”に焦点を当て、医療機関や関係者としっかり話し合いながら、訪問サービスも積極的に活用した。結果、重度も含む利用登録者が大幅に増え、最期のお看取りも三名させて頂くまでとなった。
- ・職員のスキルアップを計る為に内部の定例会、勉強会、外部研修を積極的に活用し、研修参加者が増えた。また福祉従事者としての自覚を高める為、年度末から申し送り時に法人理念やサービスガイドライン等の唱和を行っている。
- ・H26年度当初は法人代表者が管理者と計画作成担当の兼務をしていたが、その後新たにケアマネ資格を持つ職員が入職し、施設管理者候補の職員とともに、実務を担ってもらいながら、各々正式に小規模多機能の管理者と計画作成担当者となるための研修終了後交代とし、新たな体制で事業を進めて行く。

#### (4)児童デイサービス

- ・今年度より発達支援事業を一時休止し、より地域ニーズの高い放課後等デイサービスに注力して、定員20名で2フロアを使用し運営している。定員に達している日も増え、地域の声に対し、今できる限りのサービス提供を行なっている。
- ・今後、職員の確保や送迎サービスの充実に加え、制度上の課題などに対しても他事業所と連携しながら事業を進めていく事が重要と感じている。
- ・支援の内容としては昨年度に引き続き、屋外での支援を積極的に取り入れる活動をした。近隣の公園、しょうぶ沼公園、東綾瀬公園などへの散歩。スマイルぷらちななどの交流。近隣の福祉作業所(なないろ園・ひまわり園)への買物トレーニング。一緒におやつを手作りする時間を積極的に活用した。
- ・夏休み等の長期休暇の際には、上野動物園・葛西臨海公園・水族館・区内生物園など様々なところへ出かけ、子ども達から「楽しかった」「また行きたい」「次はどこに行くの？」などの声が上がリ、保護者の皆さんからも「貴重な体験・経験をありがとうございます」など感謝の声が多く寄せられた。

#### (5)あだち子育て応援隊(子育てホームサポート事業)

- ・今年度は、一時預りの依頼が大幅に増加し、コーディネート業務量がこれまでで最大となった。しかし、担当範囲を随時見直し、可能な限り業務負荷を分散させ、少ないリソースで最大限の対応をすることができた。
- ・研修自体をサポート者自ら中心となり企画して、サポート者フォローアップ研修を2回に分け実施した。教える側と教えられる側、ベテランから経験の浅いサポート者まで全体的に業務意識とスキルを向上させることができた。

#### (6)新田キッズルーム

- ・今年度は、利用者自らが主導して様々なイベントを何度も実施して頂いた。特に、運営費用のためのチャリティバザーや参加料の一部チャリティ等により、施設設備の改修を行うことができ、全ての人々が少しずつ何かできることを合わせて、何かを生み出す事の大切さと有りがたさを痛感した一年となった。
- ・大事に至らなかったが、利用児童のケガが何度か発生した。安全配慮に加え、引き続き利用児童の家族との信頼関係の構築、関係部署との情報共有の大切さをチーム内で改めて再認識した。

#### (7)ちびっこガーデン

- ・指定管理業者との信頼関係も醸成され、大きな問題なく事業運営できた。利用者との信頼関係も構築されているようで、前年度の全館利用者数の推移に比べちびっこガーデンの利用者数は前年度並みを維持しながら、再利用率も前年比5%Upとなった。区外の利用者がかなりの割合を占める施設だが、多くの方に再訪いただき、うれしさとともに責任と重要性を感じた一年となった。
- ・スタッフ間もよくまとまってきており、イベントや運営等に対してチームで意見を出し合いながら取り組む事が具体的な形となって表れてきた一年となった。

#### (8)地域保健センター集団保育事業/一時保育独自サービス

- ・従前より、公的サービスでは対応できない地域ニーズに対して、ボランティア的に実施しつつ、依頼の幅が広がりを見せ、区からのまとまった受託で別途一年間実施した。事故もなく一定規模のニーズに対応しつつ、各学習センターとの関係性も構築し、まったく別な形での講演依頼や協力依頼などをセンターから受ける機会も増え、法人全体に良い影響を与えることができた。
- ・自分でできる範囲での協力を意味を感じながら、公的範疇外であったり、どう力を発揮して良いか不安を感じる地域の人々に対し、法人の後ろ盾、チームで取り組む安心感で重要な架橋となっていると感じている。

## II.組織運営関係全般

- ・事業単位の組織がある程度形になりはじめ、様々な課題や問題に対してそれぞれが主体的に考え行動するように成長してきた。しかし、法人としての対外責任を踏まえながら内部監査指導を行いつつ、事業部組織、職員個々の自立を徐々に進めきた。
- ・管理者、責任者に教育受講、地域連携等の裁量を与え、個々のスキルアップ、他事業者を含めた事業連携を事業部主導で進められるようにした。一方で事業部ごとに管理費を配賦し、事業採算の意識づけと事業責任の感覚をもった管理者、責任者となり得るよう準備を進めた。
- ・福利厚生の一環として初めての職員旅行を実施した。加えて、児童ディ/スマイル/キッズルーム各事業部で連携し合同遠足も実施した。

# 平成26年度 決算報告書

第 14 期

自 平成26年4月1日

至 平成27年3月31日

特定非営利活動法人 ふらちなくらぶ

平成26年度 特定非営利活動に係る事業会計 財産目録

平成27年3月31日 現在

特定非営利活動法人 ぷらちなくらぶ

(単位：円)

科 目	摘 要	金 額	
<b>資産の部</b>			
I 流動資産			
現金	現金手許有高	340,165	
普通預金	みずほ銀行/綾瀬支店2037635	23,399,362	
	みずほ銀行/綾瀬支店8116855	5,232,321	
	城北信用金庫	1,171,807	
	谷中郵便局	12,686,724	42,830,379
預け金	車輛リサイクル預託金	13,980	
仮払金	スタッフ経費仮払ほか 3件	17,000	
未収入金	東京都国民健康保険連合会	23,043,536	
	足立区(委託料他)他	8,175,239	
	利用者負担分	1,883,823	33,133,578
貸倒引当金			-198,000
流動資産 合計			75,765,957
II 固定資産			
(有形固定資産)			
建物	足立区加平1-8-23 232.47㎡	39,510,357	
建物付属設備	スマイル内装工事 電気・給排水・空調・ガス設備 昇降機		
構築物	本部空調設備 本部3Fサンルーム スマイル造作工事、看板	9,895,467	
車両運搬具	前面歩道改修	7,842,551	
土地	軽自動車1台、ステップワゴン1台	188,997	
	足立区加平一丁目8番33・1 157.18㎡		
	足立区加平一丁目8番46 71.05㎡	77,829,403	135,266,775
有形固定資産 計			135,266,775
(無形固定資産)			
ソフトウェア	介護ソフト2件 ワイズマンIDC ジャニス自立支援ソフト	1,330,315	1,330,315
無形固定資産 計			1,330,315
(投資その他の資産)			
保証金		1,300,000	
敷金		12,000	
長期前払費用	スマイル 更新料	403,650	
権利金	協和興産(株) 礼金	54,600	
公共施設負担金	水道管工事負担金	588,732	2,358,982
投資その他の資産 計			2,358,982
固定資産 合計			138,956,072
資産の部 合計			214,722,029
<b>負債の部</b>			
I 流動負債			
未払金	公募に係る利息 26/10-27/3 19口	200,969	
未払費用	3月分給与 特別手当 3月分社会保険料 支払報酬4件 給食材料費2件 スマイル家賃、更新料 その他諸口8件	27,539,922	
預り金	源泉所得税 社会保険料 住民税	1,654,767	
未払法人税等	当期確定申告分	3,670,100	
未払消費税等	当期確定申告分	1,381,900	34,447,658
流動負債 合計			34,447,658
II 固定負債			
長期借入金	日本政策金融公庫 3件 公募による借入 19口	105,302,000	105,302,000
固定負債 合計			105,302,000
負債の部 合計			139,749,658
<b>正味財産の部</b>			
前期繰越正味財産		62,399,167	
当期正味財産増加額		12,573,204	
正味財産 合計			74,972,371
負債及び正味財産合計			214,722,029

平成26年度 (2014年度) 決算報告書

貸借対照表

平成 27 年 3 月 31 日 現在

I 流動資産	75,765,957	I 流動負債	34,447,658
II 固定資産	138,312,740	II 固定負債	105,302,000
III 繰延資産	643,332	III 正味財産	74,972,371
合 計	214,722,029	合 計	214,722,029

活動計算書

自：平成 26 年 4 月 1 日

至：平成 27 年 3 月 31 日

(特定非営利活動損益の部)			
第1項 特定非営利活動法人	251,259,526	第1項 事業費	197,425,441
		第2項 管理費	35,717,949
(特定非営利活動外損益の部)			
第1項 受取利息・雑収入他	104,105	第1項 支払利息・雑損失	1,975,387
		第2項 法人税等	3,671,650
(繰越利益の部)			
前期繰越利益	62,399,167	次期繰越利益	74,972,371
		(当期利益)	(12,573,204)
合 計	313,762,798	合 計	313,762,798

平成26年度 特定非営利活動に係る事業会計 貸借対照表

平成27年3月31日現在

特定非営利活動法人 ぷらちなくらぶ

(単位：円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資産の部		負債の部	
1. 流動資産		1. 流動負債	
現金	340,165	短期借入金	
普通預金	42,490,214	未払金	200,969
未収入金	33,102,598	未払費用	27,539,922
預け金	13,980	預り金	1,654,767
仮払金	17,000	未払法人税等	3,670,100
貸倒引当金	-198,000	未払消費税等	1,381,900
<b>流動資産 合計</b>	<b>75,765,957</b>	<b>流動負債 合計</b>	<b>34,447,658</b>
2. 固定資産		2. 固定負債	
(有形固定資産)		長期借入金	105,302,000
建物	39,510,357	<b>固定負債 合計</b>	<b>105,302,000</b>
建物付属設備	9,895,467	<b>負債の部 合計</b>	<b>139,749,658</b>
構築物	7,842,551	正味財産の部	
車両運搬具	188,997	前期繰越正味財産	62,399,167
土地	77,829,403	当期正味財産増加額	12,573,204
有形固定資産 計	135,266,775		
(無形固定資産)			
ソフトウェア	1,330,315		
無形固定資産 計	1,330,315		
(投資その他の資産)			
保証金	1,300,000		
敷金	12,000		
長期前払費用	403,650		
権利金	54,600		
公共施設負担金	588,732		
投資その他の資産 計	2,358,982		
<b>固定資産 合計</b>	<b>138,956,072</b>	<b>正味財産 合計</b>	<b>74,972,371</b>
<b>資産の部 合計</b>	<b>214,722,029</b>	<b>負債及び正味資産合計</b>	<b>214,722,029</b>



平成26年度 特定非営利活動に係る事業会計 活動計算書

自 平成26年4月1日 平成27年3月31日

特定非営利活動法人 ぷらちなくらぶ

(単位:円)

科 目	金 額	額
<b>I. 経常収益</b>		
1. 会費・入会金収入		
正会員会費	140,000	
<b>会費・入会金収入 計</b>		<b>140,000</b>
2. 事業収入		
介護支援事業	94,820,561	
子育て支援事業	83,660,365	
居宅介護支援事業	71,575,313	
<b>事業収入 計</b>		<b>250,056,239</b>
3. 助成金・寄付金収入	1,063,287	
<b>助成金・寄付金収入 計</b>		<b>1,063,287</b>
<b>経常収益 計</b>		<b>251,259,526</b>
<b>II. 経常費用</b>		
1. 事業費		
介護支援事業費		
人件費	66,254,006	
減価償却費	94,356	
その他事業費	3,532,339	69,880,701
子育て支援事業費		
人件費	66,374,856	
その他事業費	1,930,284	68,305,140
居宅介護支援事業費		
人件費	46,712,677	
減価償却費	2,439,889	
その他事業費	10,087,034	59,239,600
<b>事業費 計</b>		<b>197,425,441</b>
2. 管理費		
(1) 人件費		
給与手当	11,532,587	
法定福利費	2,949,446	
福利厚生費	1,953,675	16,435,708
(2) その他経費		
旅費交通費	1,485,747	
採用教育費	235,086	
通信運搬費	1,793,569	
消耗什器備品費	4,127,603	
修繕費	500	
広告宣伝費	314,130	
保険料	829,415	
租税公課	3,366,050	
交際費	78,363	
水道光熱費	631,150	
リース料	1,019,792	
減価償却費	2,244,289	
支払手数料	410,536	
委託料	2,439,251	
諸会費	12,000	
寄付金	50,000	
雑費	244,760	19,282,241
<b>管理費 計</b>		<b>35,717,949</b>
<b>経常費用 計</b>		<b>233,143,390</b>
<b>当期経常増減額</b>		<b>18,116,136</b>
<b>III. 経常外収益</b>		
貸倒引当金戻入	1,000	
受取利息	7,648	
雑収入	95,457	
<b>経常外収益 計</b>		<b>104,105</b>
<b>IV. 経常外費用</b>		
支払利息	1,966,633	
雑損失	8,754	
<b>経常外費用 計</b>		<b>1,975,387</b>
<b>税引前当期正味財産増減額</b>		<b>16,244,854</b>
法人税・住民税及び事業税		3,671,650
<b>当期正味財産増減額</b>		<b>12,573,204</b>
前期繰越正味財産額		62,399,167
<b>次期繰越正味財産額</b>		<b>74,972,371</b>

計算書類の注記

自 平成26年4月1日  
至 平成27年3月31日

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 定額法 定率法  
無形固定資産 定額法

税法上の繰延資産の処理方法

有効期間にわたり均等償却をしております。

引当金の計上基準

貸倒引当金

債権の貸倒の損失に備えるため、一般債権について法人税法の規定による法定繰入率により、回収不能見込額を計上しています。

リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

消費税等の会計処理方法

税込方式によっております。

2. 貸借対照表に関する注記

有形固定資産の減価償却累計額 18,032,509円

3. 固定資産の増減内訳

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
建物	43,314,842	0	0	43,314,842	3,804,485	39,510,357
建物付属設備	15,440,476	2,438,424	0	17,878,900	7,983,433	9,895,467
構築物	13,055,699	451,440	0	13,507,139	5,664,588	7,842,551
車両運搬具	769,000	0	0	769,000	580,003	188,997
土地	77,829,403	0	0	77,829,403	0	77,829,403
合計	150,409,420	2,889,864	0	153,299,284	18,032,509	135,266,775

4. 借入金の増減内訳

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
短期借入金	0	0	0	0
長期借入金	122,262,000	0	16,960,000	105,302,000

## 平成27年(2015年)度事業計画(案)

自 平成27年4月 1日  
至 平成28年3月 31日

### I.事業

#### 1.事業概要

各事業において、5つの視点を元に改善をしながら事業をすすめ、事業内のコスト/効率化の意識をもちながら他事業との連携を各自が主体性をもちながら法人全体で取り組んでいく

「利用者本意」～自立支援を念頭においた質の高い計画、サービス提供と課題解決

「職員重視」～自己とチーム、法人全体の成長の為に自らできる事の目標設定と評価

「安心、安全」～ヒヤリハットの蓄積、分析、展開、改善による自己/チーム/法人のリスク管理

「地域密着」～地域の様々な人々が支え合い、育てあう、信頼関係の構築

「独自性」～自分らしさ、チームらしさ、法人らしさを念頭におき、新しい価値を生み出す気づき

これらの視点を常に意識として持ち、自分のみならず、チーム/事業部、法人、地域の一員として自ら主体性をもち、自分の目標を設定して、計画的に行動しながら改善し、各々の事業に取り組んで行く。

#### 2.事業活動概要

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事人数	受益対象者の範囲及び人員	売上計画(千円)
介護関連	居宅介護支援事業所 「ぷらちなぷらん」 ・ケアプラン作成事業	9:00-18:00	利用者宅	2人	のべ 1,400人	8,000
	訪問介護 ・介護保険訪問介護事業	24時間毎日	利用者宅	40人	50人	30,000
	小規模多機能型居宅介護 「スマイルぷらちな」	24時間毎日	スマイル施設及び利用者宅	22人	のべ 登録230人	65,000
障がい関連	総合支援 ・総合支援、居宅介護事業 ・ガイドヘルプサービス、生活支援(身体介護・家事援助・外出介護)	24時間毎日	利用者宅及び介助先	45人	75人	55,000
	ぷらちな児童デイ ・放課後等デイサービス事業	平日9:00-19:00 (送迎時間含)	ぷらちな事務所1F,2F	10人	のべ 3,950人	28,500
子育て関連	あだち子育て応援隊 (子育てホームサポート事業) ・一時保育	6:00-22:00	利用者宅	のべ 1,100人	のべ 12,000人	65,000
	・月ぎめ保育	8:00-18:00	利用者宅及び支援者宅	のべ 350人	のべ 100人	

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事人数	受益対象者の範囲及び人員	売上実績(千円)
子育て 関連	新田キッズルーム ・幼稚園送迎ステーション事業 ・地域人材連携サロン事業	送迎ST 平日7:30-9:30 16:00-19:00 サロン 平日10:00-16:00	新田キッズ ルーム (新田3)	4人	のべ 送迎ST 240人 サロン5,000人	13,000
	ちびっこガーデン(子育てサロン 西新井) ・子育てサロン事業	10:00-16:00 (閉館日除)	ちびっこ ガーデン(栗 原1)	10人	のべ 一時預550人 サロン80,000 人	
	サポーター養成講座	夏/秋2回	げんき /学びピア	5人	80人×2回	539
	地域保健センター/男女参画プラ ザ集团保育事業 一時保育独自サービス	9:00-18:00	区内各保健 センター	300人	600人	1,200
		利用者宅	100人	110人		
地域連携	地域連携事業					-

### 3.事業目標

#### (1)居宅介護支援事業所「ぷらちなぷらん」

- ・利用者が自らが自立した在宅生活ができるよう、各種の制度、サービス、社会資源を活用し、関連機関、事業所、ご家族と連携して、共通の認識のもとに目標を設定して、チームによるケアを心がけ、個々のニーズに応じた利用者本意の介護保険サービスが提供出来る様努める。
- ・利用者に対して専門性の高いプランが提供出来る様、都、区、地域包括等の研修に参加し、自己研さんに努める
- ・利用者自らが希望する、その人らしい日常生活が自立して出来る様、課題を適切にとらえ、問題提起と解決を図るため地域社会資源、国、介護保険制度、関係機関に提起していく。

#### (2)訪問介護事業/障がい者総合支援事業

- ・利用者自らがその人らしい日常生活の継続が出来る様、自立支援を重視し、ケアマネージャー、ご家族、地域、行政等と連携を図り、必要なサービスを提供する。
- ・「自立支援」「心のふれあい」「社会作り」をキーワードに考えながら、利用者ニーズを満たすサービスを提供する。
- ・定例会を法人全体として行い、幅の広い知識の共有と各種資格取得(普通救急救命、認知症サポーター等)の機会を提供し、ヘルパーの資質向上育成にも重点をおく。

#### (3)小規模多機能型居宅介護「スマイルぷらちな」

- ・地域との交流に今まで以上の力を注ぎ、今年度から定期的におこなわれる七輪パーティ、毎年おこなわれている夏祭りへ近隣にお住いの方々、近隣施設関係者にご利用者の参加を促すことで交流の場を拡張する。
- ・職員へ定例会・勉強会への参加の促しを継続するとともに、一人一人が業務について改善案・新提案を出すことによる、報告力・コミュニケーション力アップと成し遂げる達成感により、スキルアップする職場の環境作りに努める。
- ・新人(若手)職員の発言の場を設け、様々なアイデアを引きだし、利用者＝高齢者＝〇〇が良い。というような固定観念を除外した取組、イベント等を取り入れていくことで全体の活性化を図る。

#### (4)児童デイサービス

- ・利用需要は多くなっているが、現在区内でも20件を超える事業所が設立されており、以前に比べ利用者が事業所を選べるようになってきた。これまで以上に事業所の特色を出し、利用者増、自立の為の支援を追及していく。
- ・設備面では日本財団の助成を頂き現在5台の車両を配備したが、人員も順次増員を行い、1人でも多くの支援を行えるように体制を整えてゆく。
- ・職員のスキルアップ及びワークライフバランスを維持できるように情報共有、職場環境を確立していく。

(5)あだち子育て応援隊(子育てホームサポート事業)

- ・定例会の内容を充実させ、サポーターの一層のレベルアップを図る
- ・各種の得意分野、技能を持つサポーターを発掘し、定例会、養成講座、フォローアップ研修など活躍の場を提供する。
- ・コーディネート業務の定型化とドキュメント化を図り、経験に頼っている業務の継承、標準化によるヘルプ要員の指導と養成を実施する。

(6)新田キッズルーム

- ・利用者の組織化と更に踏み込んだ活動の活性化を促し、地域で作り上げる施設を目指す
- ・安全管理と情報共有のため、ヒヤリハット活用と記録能力、文章能力の向上を目指す
- ・サポーター資格の取得、再受講をすすめ、最新の子育て関連知識を習得する。

(7)ちびっこガーデン

- ・サポーター資格の取得、再受講をすすめ、最新の子育て関連知識を習得する。
- ・接遇の基本を学び、施設にあった形での標準化と共有を行う
- ・施設環境特有の課題を整理し、改善策についてチームで検討、解決に取り組む

(8)サポーター養成講座

- ・ぶらちなくらぶの経験、人脈、つながりを生かした講座組み立てと運営を実施する
- ・しっかりとした意識をもったサポーターを養成し、即戦力として活躍できるサポーターを囲い込む
- ・キッズルームやちびっこガーデン、独自事業を活用し、不安要素に対して経験の場を提供しつつ、優秀な人材の見極めをしておく

(9)地域保健センター/男女参画プラザ集団保育事業

- ・リーダーに対する指導を徹底し、コーディネートに手間がかからない様にする
- ・フローの再確認、不測の事態のマニュアル、ケーススタディを整理、まとめてストックしておく
- ・情報をタイムリーに報告してもらい、安定したサービス提供を進めて行く。

(10)一時保育独自サービス

従前同様、公的サービスでは対応できない地域ニーズに対し社会的役割を担って行く。

(11)地域連携事業

ぶらちなくらぶの経験、各種リソースを生かし、地域において新たな関わりを発掘しながら連携させ、社会事業として様々な企画やプロジェクトを実施しながら、地域活動を広げていく。

## II.組織運営関係全般

- ・職位等級制度、キャリアパス、法人内教育体系を整理し関連付け、昇給の取り組みをルール化する。
- ・地域との交流、他団体や人材交流を積極的に進め、ぶらちなくらぶの強みを社会に対して生かす方策を見つけながら、外部の人や組織が持つ力、つながりを吸収、活用し、法人の独自性を高める様、相乗効果を狙って関係性を構築する。
- ・部門ごとのキーパーソンを重点育成し、裁量範囲、責任範囲を明確にして、組織醸成に取り組む
- ・外部のリソースを活用してアウトソース化できる部分はその効果を踏まえ実践していく。また、事務局側と事業部側の責任範疇を整理し、中枢機能の整理とスリム化、標準化を検討する。
- ・ぶらちなくらぶ独自の社内制度(各種表彰、地域交流、教育受講)を周知徹底して有効的に活用して全体事業の幅を広げていく
- ・事業拡大、法制度改定などに伴う経営リスクを正確に把握し、法人としての準備、体制を整え事業運営に取り組む。

平成27年度 特定非営利活動に係る事業会計 活動計画書

自 平成27年4月1日 平成28年3月31日

第4号議案

特定非営利活動法人 ぶらちなくらぶ

(単位:円)

科 目	金	額
I. 経常収益		
1. 会費・入会金収入		
正会員会費	200,000	
<b>会費・入会金収入 計</b>		<b>200,000</b>
2. 事業収入		
介護関連事業	103,000,000	
・居宅CM/訪問/スマイル事業		
障がい関連事業	83,500,000	
・総合支援/児童デイ事業		
子育て関連事業	79,739,000	
・応援隊/サロン/独自事業		
<b>事業収入 計</b>		<b>266,239,000</b>
3. 助成金・寄付金収入		
助成金・寄付金収入 計		0
<b>経常収益 計</b>		<b>266,439,000</b>
II. 経常費用		
1. 事業費		
介護関連事業		82,640,000
障がい関連事業		59,510,000
子育て関連事業		71,690,000
<b>事業費 計</b>		<b>213,840,000</b>
2. 管理費		
(1) 人件費		
給与手当	13,500,000	
法定福利費	4,000,000	
福利厚生費	3,000,000	20,500,000
(2) その他経費		
旅費交通費	1,600,000	
採用教育費	1,300,000	
通信運搬費	1,900,000	
消耗什器備品費	4,500,000	
修繕費	500,000	
広告宣伝費	400,000	
保険料	900,000	
租税公課	4,560,000	
交際費	1,690,000	
水道光熱費	660,000	
リース料	1,500,000	
減価償却費	2,000,000	
支払手数料	430,000	
委託料	2,560,000	
諸会費	100,000	
寄付金	100,000	
雑費	220,000	24,920,000
<b>管理費 計</b>		<b>45,420,000</b>
<b>経常費用 計</b>		<b>259,260,000</b>
<b>当期経常増減額</b>		<b>7,179,000</b>
III. 経常外収益		
貸倒引当金戻入		
受取利息	10,000	
雑収入	100,000	
<b>経常外収益 計</b>		<b>110,000</b>
IV. 経常外費用		
支払利息	2,000,000	
雑損失	10,000	
<b>経常外費用 計</b>		<b>2,010,000</b>
<b>税引前当期正味財産増減額</b>		<b>5,279,000</b>
法人税・住民税及び事業税		1,583,700
<b>当期正味財産増減額</b>		<b>3,695,300</b>
前期繰越正味財産額		74,972,371
次期繰越正味財産額		78,667,671

理事及び監事選任の件

各理事(5名)及び監事(1名)は、平成27年5月26日を以って任期満了となりますので、新たに理事及び監事を選任したいと存じます。

現在の役員構成

理事長	大竹恵美子
理事	團野純子
理事	小谷典史
理事	熊谷英雄
理事	三井元子
監事	谷口良実

本年度理事及び監事候補者については、次のとおりであります。

- \* 理事 大竹恵美子
- \* 理事 團野純子
- \* 理事 小谷典史
- \* 理事 熊谷英雄
- \* 理事 三井元子
- \* 監事 谷口良実